

ちいさな証

共に祈り賛美する喜び

佐藤裕希恵

スイス・バーゼル家庭集会



ハレルヤ！主はなんと偉大で恵み深いお方なのでしょう。これを書いている今、私の心は主への感謝と恵みでいっぱいです。

私は東京に生まれ育ちましたが、家族にクリスチャンは一人もおりません。中学生の頃進路に関する両親との不和から鬱状態が続き自傷行為を繰り返して

していました。自殺をする勇気もなく、ただただ苦しい毎日でした。大学生になって両親との関係は表面的にはよくなりましたが心の中はまだ荒んでいて、なんとかして自分の人生を肯定し、自分自身を人に認めてもらおうともがいていました。

大学で声楽を勉強していたのでキリスト教宗教曲をよく歌っていましたが、キリスト教のことはよくわからないまま演奏していました。そんな中、ひょんなことからバーゼルへ留学する道が開かれました。当時はまだイエス様に出会っておらず、何とかして自分で道を切り開こうとしていましたが、これも全て主の導きでした。

歌のために聖書を学んでみたいと思っていたところに、オルガニストの先輩からバーゼルの家庭集会へ誘われ通うようになりました。またヨーロッパの美術館や教会を見学するのが好きで、特に宗教画に興味を持つようになりました。日本では見なかったたくさんの宗教画や教会であふれる街々をみて、「技術の限りをもってこんなすごい教会を建て、ずっと昔から今この時まで礼拝をし続けているなんて、もしかして神様って嘘じゃないのかも

しれない。じゃなかったら、今私の目の前にあるこれは何だろう？」と感じるようになっていました。

またスコラで出会ったクリスチャンの日系ブラジルの方との交際が始まり（現在の婚約者）、目の前で誰かが祈る姿をよく見るようになりました。気がついたら、たくさんのクリスチャン要素に囲まれて生活していたのです。神様のご計画、まさに追い込み漁！

そんなある日実家の愛犬に難病が見つかりました。大切な家族の手術が失敗すれば死んでしまうという時に、家

庭集会の皆やパートナーがいつもしているように自分も祈ってみました。するとその瞬間に言葉では言い表せないようなものすごいエネルギーを感じて、神様がそこにいらっしゃるのだということを理解しました。涙が止まらなくなりました。

その後、家庭集会にマイヤー先生が来てくださるようになり、じゅくりと時間をかけて洗礼準備を導いていただきました。主との関係をしっかりと築き上げるために必要な時間でした。今は心から救いの確信が得られています。洗礼の決心から3年後、今年の7月にJEGで洗礼を授かりました。

ここ数日は信仰を持つ友人たちとの深い交わりが毎日のように与えられて、共に祈り主を賛美することができる人がいる喜びと恵みをかみしめています。バーゼルの地で主が与えてくださった信仰、共に主を見上げ歩いていく主にある家族。これさえあれば、先が見えないこれからの日本での生活も、きっと道をそれることなく主に仕え歩いていくことができると信じています。皆さまに、そして主に、心から感謝を申し上げます。

